

## 討論集会

### 【抵抗のかたちと希望—3.11、沖縄、上関から】

○日時：3月27日 14:00-17:00

○場所：東京都文京区シビックホール：会議室 1 & 2

（文京シビックセンター3階）

—収容人数：39名（定員120名）

○報告者：

田村あずみ氏（滋賀大学講師、英国ブラッドフォード大学大学院卒）

大澤茉実氏（花伝社編集者、元 SEALDs メンバー）

大畑豊氏（NPJ 共同代表、辺野古湾抗議船船長）

前田恵子氏（NPJ 理事、生協理事）

○司会： 君島東彦氏

（NPJ 共同代表、立命館大学憲法学教授）

○進行：

14:00

君島代表、「この討論集会について」

14:10-16:00

田村、大澤、大畑、前田の各氏が  
20-25分スピーチ

16:00-16:15 休憩

16:15-17:00 全体討論

○アクセス：交通機関

\* 東京メトロ丸ノ内線・南北線

後樂園駅・(4a・5 番出口) 徒歩 1 分

\* 都営地下鉄三田線・大江戸線 春日駅

(文京シビックセンター連絡口) 徒歩 1 分

\* JR 総武線水道橋駅 (東口) 徒歩 9 分



事務局長 安藤 博

2011年3月11日の東日本大震災/原発事故から十年。警察庁のまとめで死者は1万5899人。行方不明者は2529人。妻子/夫/親が行方不明になっている被災者にとってはいまでも続いている災害です。震災関連自殺は後絶たず、この10年で240人。その半数は地震、津波に加えて原発暴発による放射能被害が重なった福島県にひとたちです。

非暴力平和隊/日本 (NPJ) は、3月27日に東京で「討論集会【抵抗のかたちと希望—3.11、沖縄、上関から】」を開催します。本誌巻頭の君島稿にある通り「<3.11>が

もたらした反原発運動、その後継といえる運動・安保法制反対運動等」に関わってきた NPJ の仲間の報告・コメントを聴き、いま抵抗はどのようなかたちで可能なのか、希望はどこにあるのかを考える集まりです。

3.11 から 10 年で襲ってきたのがコロナ、人と類の歴史を変えようとする災厄です。そのウィルスは、自ら様々に変異をとげつつ、日本に、世界に様々な異変をもたらしています。自殺。店を閉めざるを得なくなった居酒屋さん、閉じこもりを強いられた高齢者など、日本では 2009 年の 3 万 2845 人から 2019 年の 2 万 169 人まで毎年減少を続けていましたが、2020 年は 2 万 919 人と 11 年ぶりに前年より増加。特に女性の自殺者が 900 人近く増えています。

他方で、ものを作らず情報を転がす IT 産業の GAFA (グーグル、アマゾン、フェイスブック、アップル) は、コロナどこ吹く風で巨利をあげています。自殺に追い込まれるほどの経営苦境が広がっているなか、何故か株はね上がり、2 月 15 日の東京株式市場日経平均は 1990 年 8 月以来 30 年 6 カ月ぶりに 30,000 円の大台をつけました。

コロナがもたらした異変の最たるものは、「会うな、集まるな」の三密統制のなかで連携/連絡/交流の機会を作ろうとする企てでしょう。個々人、地域間、国家間で様々なかたちでこの「寄らずに会う」試みが広がっています。

わたくしたちも及ばずながら、この「寄

らずに会う」試みに踏み込んでいます。昨年 9 月 27 日の憲法討論集会【憲法】もそうでしたが、この 3/27 日集会も文京シビックセンターの会場にお越しになる方より場外でオンライン (テレビ) 会議に参加されるの方が恐らく多いでしょう。コロナ感染に対する警戒から会場に「集まる」ことを避ける方が多くなって顔を合わせる機会を失うのはさびしいことです。しかし、ものは考えようです、これまでは東京や京都で開催される集会には参加が難しかった北海道や沖縄のような遠距離にお住まいの方たちも、オンラインならたとえば千葉県や奈良県の方たちと同じように参加できるようになっています。

既に大学の授業は、テレビ会議で行うことが定着しています。コロナによる分断を克服し、3/11 以降の「路上の抵抗運動」が狭い地域で孤立することなく国際的な広がりを持った連帯にもつなげていく積極歴な可能性をもっていることも大事にしていきたいと思います。

## ○会場での注意事項

### (新型コロナウイルス) :

1. 入場人数制限 : 39 名 (定員 120 名)
2. 会場入り口で体温測定させていただき、アルコール消毒液を用意いたします
3. 会場は定期的に換気いたします
4. その他の注意事項

\* ソーシャルディスタンス (2m) 遵守、マスク着用、近距離での会話を避ける、名簿作成にご協力お願いします